



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社ステムセル研究所 上場取引所 東
 コード番号 7096 URL <https://www.stemcell.co.jp/corporate/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 崇文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 谷 勝弘 (TEL) 03-5408-5325
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,091	17.4	297	31.1	300	41.3	198	48.1
2022年3月期	1,781	26.4	226	161.2	212	130.0	133	114.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	19.33	—	9.0	5.4	14.2
2022年3月期	13.20	—	7.8	4.6	12.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,811	2,298	39.6	224.33
2022年3月期	5,215	2,103	40.3	205.33

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,298百万円 2022年3月期 2,103百万円

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	99	△285	△0	3,324
2022年3月期	469	404	644	3,510

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,509	20.0	451	51.8	451	50.4	300	51.5	29.28

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	10,246,600 株	2022年3月期	10,246,600 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	46 株	2022年3月期	— 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	10,246,558 株	2022年3月期	10,128,678 株

(注) 当社は2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 事業計画及び成長可能性に関する事項の開示を予定している時期

次回の開示は、2023年6月下旬を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期は当社主事業である「細胞バンク事業」における「さい帯血」保管サービス（市場シェア約99%）及び2021年4月より開始した日本初の「さい帯（へその緒）」保管サービス（同100%）それぞれの検体数増加及び2022年12月よりのサービス価格改定が寄与し、過去最高の売上高を計上いたしました。

また、2021年3月12日付で厚生労働省（関東信越厚生局）より特定細胞加工物製造許可を取得し稼働させた横浜細胞処理センターの体制強化も順調に進んでおり、中期経営目標である年間約2万検体の処理能力の確保と運用力の強化に取り組んでおります。

3年に亘り社会経済活動に多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症については、WHOが緊急事態の終了を宣言し日本国内でも5月8日から法律上の位置付けが変更された事により、当社の主要なマーケティングチャネルである医療機関でも正常化に向けた動きが加速しております。これにより当社の目指すデジタル（オンライン広告、SNS等）とリアル（産科施設内でのスピーチやPR等）のマーケティングの相乗効果が高まり、今後の業績拡大に大きく貢献する見込みです。また、コロナ禍中一時ストップしていた海外の企業との交流も再開しつつあり、今後アジアを中心とした海外展開にも再度チャレンジして参ります。

「さい帯血」を用いた再生医療分野につきましては、国内では高知大学医学部附属病院小児科において脳性麻痺児に対する臨床研究が順調に進んでおります。また大阪公立大学大学院医学研究科発達小児医学教室を中心としたグループでは低酸素性虚血性脳症（HIE）児に対する臨床研究も引き続き進められております。

米国においては、FDA認可のもとデューク大学で進められている脳性麻痺児等へのさい帯血投与プログラムへ、当社でさい帯血を保管されている方々が参加されるケースが増加しており、その結果も良好です。

「さい帯」を用いた研究開発につきましては、大阪大学大学院医学系研究科スポーツ医学教室と設立した「運動器スポーツバイオメカニクス学講座」において、新たな半月板治療法の開発を推進しております。

また、東京大学医科学研究所セルプロセッシング・輸血部及び東京大学医学部附属病院ティッシュ・エンジニアリング部との小児形態異常等の先天性疾患に対する治療法の開発も、引き続き推進しております。

そして、当社における国内全出生数に対する細胞保管率を、中期（2028年3月期）経営目標である約3%（さい帯血保管数約2万検体、今期は約1%、7,564検体）から更に高めるため、幹細胞を用いた治療機会の拡大や細胞培養時の生産物（エクソソーム等）を利用する新事業も、来期のスタートに向け積極的に推進しております。

これらの活動の結果、当事業年度における売上高は、過去最高の2,091,293千円（前年同期比17.4%増）、営業利益は297,560千円（前年同期比31.1%増）、経常利益300,365千円（前年同期比41.3%増）となりました。

また、今後の更なる事業拡大フェーズにおける業務効率向上及びESGの観点（働く環境の充実）から、本年5月末に本社の移転を予定しており、本社移転に伴う固定資産の減損損失等の21,407千円を当期において特別損失に計上した結果、当期純利益は、198,032千円（前年同期比48.1%増）となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は5,811,615千円となり、前事業年度末に比べ596,012千円増加いたしました。流動資産は4,545,462千円となり、前事業年度末に比べ367,116千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が187,297千円減少した一方で、売掛金が546,350千円増加したことによるものであります。固定資産は1,266,152千円となり、前事業年度末に比べ228,896千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が138,201千円、投資その他の資産のその他に含まれる敷金及び保証金が39,717千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は3,513,026千円となり、前事業年度末に比べ401,407千円増加いたしました。流動負債は3,431,572千円となり、前事業年度末に比べ379,767千円増加いたしました。これは主に、前受金が349,926千円増加したことによるものであります。固定負債は81,454千円となり、前事業年度末に比べ21,640千円増加いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は2,298,588千円となり、前事業年度末に比べ194,604千円増加いたしました。これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比べ186,297千円(同5.3%)減少し、3,324,021千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動の結果得られた資金は、99,672千円(前事業年度は469,290千円)となりました。これは主に、税引前当期純利益を278,957千円計上したこと及び保管検体数の増加に伴い前受金が349,926千円増加した一方、売上債権が546,350千円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は、285,100千円(前事業年度は404,170千円の獲得)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出143,010千円、有形固定資産の取得による支出56,056千円、敷金及び保証金の差入による支出47,940千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は、869千円(前事業年度は644,373千円の獲得)となりました。これは、主にリース債務の返済による支出777千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社の主事業である細胞バンク事業においては、コロナ禍中に立ち上げた、デジタル・マーケティング(Web広告、SEO、オンラインセミナー等)と従来型のリアル・マーケティング(産科施設における母親学級等でのスピーチ等)の相乗効果により、中期的(2028年3月期)に保管検体数を出生数の3%程度まで高める事で業績を拡大し、同じく中期的な経営目標である営業利益率30%を達成して参ります。

そして、これらの細胞等の活用を推進する事で、より多くの方が再生医療の恩恵を受けられる世の中を目指して、事業活動を行って参ります。

また、当社の強みである、全国の産婦人科医院及び年間約80万人に上る、出産を控える妊婦さんとその関係者の方々へアプローチできる当社独自のネットワークを活用し、様々な幹細胞のバンキング、またそれらを利用した新たなプロダクトやサービスの開発等の事業展開を、もう一つの当社の強みである強固な財務基盤をベースに、関連するベンチャー企業への出資やM&Aを含めて積極的に推進して参ります。

以上により、2024年3月期は、売上高2,509,917千円、営業利益451,792千円、経常利益451,792千円、当期純利益は300,000千円とそれぞれの項目で過去最高の数値を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針です。なお、国際会計基準の適用については国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,511,319	3,324,021
売掛金	594,475	1,140,826
原材料及び貯蔵品	40,149	39,352
前払費用	32,295	43,587
その他	1,674	1,514
貸倒引当金	△1,567	△3,839
流動資産合計	4,178,346	4,545,462
固定資産		
有形固定資産		
建物	583,035	616,509
工具、器具及び備品	458,770	515,661
リース資産	—	6,060
減価償却累計額	△394,202	△490,176
有形固定資産合計	647,603	648,055
無形固定資産		
ソフトウェア	24,670	24,532
無形固定資産合計	24,670	24,532
投資その他の資産		
投資有価証券	105,100	243,301
役員に対する長期貸付金	133,050	133,050
関係会社株式	—	16
関係会社長期貸付金	—	5,404
長期前払費用	2,224	1,331
繰延税金資産	28,327	44,207
その他	96,281	166,252
投資その他の資産合計	364,982	593,565
固定資産合計	1,037,256	1,266,152
資産合計	5,215,602	5,811,615

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,957	30,186
未払金	75,116	129,852
未払費用	17,379	17,366
未払法人税等	77,903	62,446
前受金	2,745,081	3,095,007
リース債務	—	1,333
預り金	7,000	8,031
賞与引当金	42,744	48,658
その他	56,620	38,688
流動負債合計	3,051,805	3,431,572
固定負債		
役員退職慰労引当金	8,720	21,013
リース債務	—	4,555
資産除去債務	51,093	55,886
固定負債合計	59,813	81,454
負債合計	3,111,619	3,513,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,805	704,805
資本剰余金		
資本準備金	589,805	589,805
資本剰余金合計	589,805	589,805
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	809,372	1,007,405
利益剰余金合計	809,372	1,007,405
自己株式	—	△91
株主資本合計	2,103,983	2,301,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△3,336
評価・換算差額等合計	—	△3,336
純資産合計	2,103,983	2,298,588
負債純資産合計	5,215,602	5,811,615

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,781,943	2,091,293
売上原価	670,686	755,450
売上総利益	1,111,257	1,335,843
販売費及び一般管理費	884,305	1,038,282
営業利益	226,952	297,560
営業外収益		
受取利息	588	1,868
還付加算金	550	—
助成金収入	—	412
その他	89	523
営業外収益合計	1,227	2,804
営業外費用		
支払利息	27	—
株式交付費	6,219	—
株式公開費用	9,378	—
営業外費用合計	15,625	—
経常利益	212,554	300,365
特別損失		
本社移転費用	—	21,407
特別損失合計	—	21,407
税引前当期純利益	212,554	278,957
法人税、住民税及び事業税	81,785	95,332
法人税等調整額	△2,957	△14,408
法人税等合計	78,827	80,924
当期純利益	133,726	198,032

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	374,820	259,820	259,820	687,569	687,569	—	1,322,209
会計方針の変更による累積的影響額				△11,923	△11,923		△11,923
会計方針の変更を反映した当期首残高	374,820	259,820	259,820	675,645	675,645	—	1,310,285
当期変動額							
新株の発行	329,985	329,985	329,985				659,971
自己株式の取得							—
当期純利益				133,726	133,726		133,726
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	329,985	329,985	329,985	133,726	133,726	—	793,698
当期末残高	704,805	589,805	589,805	809,372	809,372	—	2,103,983

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	—	—	1,322,209
会計方針の変更による累積的影響額			△11,923
会計方針の変更を反映した当期首残高	—	—	1,310,285
当期変動額			
新株の発行			659,971
自己株式の取得			—
当期純利益			133,726
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—
当期変動額合計	—	—	793,698
当期末残高	—	—	2,103,983

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	704,805	589,805	589,805	809,372	809,372	—	2,103,983
当期変動額							
新株の発行							—
自己株式の取得						△91	△91
当期純利益				198,032	198,032		198,032
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	198,032	198,032	△91	197,941
当期末残高	704,805	589,805	589,805	1,007,405	1,007,405	△91	2,301,924

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当期首残高	—	—	2,103,983
当期変動額			
新株の発行			—
自己株式の取得			△91
当期純利益			198,032
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	△3,336	△3,336	△3,336
当期変動額合計	△3,336	△3,336	194,604
当期末残高	△3,336	△3,336	2,298,588

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	212,554	278,957
減価償却費	96,913	104,932
本社移転費用	—	21,407
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	769	2,272
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△764	5,914
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,813	12,293
受取利息及び受取配当金	△588	△1,868
支払利息	27	—
株式交付費	6,219	—
株式公開費用	9,378	—
補助金収入	△89	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△314,385	△546,350
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△8,032	796
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,958	228
未払金の増減額 (△は減少)	7,705	6,492
未払消費税等の増減額 (△は減少)	56,652	△17,470
未収消費税等の増減額 (△は増加)	48,176	—
前受金の増減額 (△は減少)	330,246	349,926
その他	4,240	△10,088
小計	460,797	207,442
利息及び配当金の受取額	42	1,528
利息の支払額	△27	—
法人税等の支払額	△13,928	△109,299
補助金の受取額	89	—
法人税等の還付額	22,317	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,290	99,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	750,000	1,000
投資有価証券の取得による支出	—	△143,010
有形固定資産の取得による支出	△181,156	△56,056
無形固定資産の取得による支出	△23,325	△3,847
役員に対する長期貸付金の貸付による支出	△133,050	—
敷金及び保証金の差入による支出	△9,065	△47,940
その他	768	△35,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	404,170	△285,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	644,373	—
リース債務の返済による支出	—	△777
自己株式の取得による支出	—	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	644,373	△869
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,517,834	△186,297
現金及び現金同等物の期首残高	1,992,484	3,510,318
現金及び現金同等物の期末残高	3,510,318	3,324,021

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、細胞バンク事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	205.33円	224.33円
1株当たり当期純利益	13.20円	19.33円

- (注) 1. 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	133,726	198,032
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	133,726	198,032
普通株式の期中平均株式数(株)	10,128,678	10,246,558